

学校給食費の額の改定について

1 学校給食の現状

○本町の学校給食は、学校給食法に基づき、児童生徒の心身の健全な発達及び食に関する正しい理解と適切な判断力を養うこと等を目的に実施しています。

○現在の給食費は、小学校が300円、中学校は350円となっています。

○物価高騰の影響で、基本物資である「主食(ご飯)」が、特に値上がっています。

○国の施策により、本町では週4日米飯給食を提供できるよう努めていますが、基本物資の値上がりから、副菜に充てられる金額が減っています。

2 改定理由

下表は、小学校3・4年生の量における「牛乳、白飯、ソフトめん、ミルクロールパン」で、単価を比較したものです。

週の多くで提供する「牛乳と白飯」では、2025年度と2026年度の差額として、1食あたり約16円上昇している状況です。

小学校給食費300円のうち、「牛乳と白飯」で約143円であり、副菜(おかずや汁物など)に約157円しか充てられません。

●小学校3・4年生の量における基本物資の比較

基本物資	2025 年度	2026 年度	差額	提供日数
牛 乳	63.53 円	66.94 円	+ 3.41 円	5日/週
白飯(60g)	63.45 円	75.95 円	+ 12.50 円	4日/週
ソフトめん(80g)	53.37 円	54.62 円	+ 1.25 円	2日/月
ミルクロールパン(50g)	58.32 円	60.12 円	+ 1.80 円	1日/週

※ソフトめんが提供される週は、白飯の提供日数は3日/週

- 副菜として、よく使用される肉類と調味料の単価の比較は、下表のとおりです。

	2025年度	2026年度	差額	1人当たり
豚肉(ももスライス)	1,100円/kg	1,200円/kg	+100円	+2.5円
鶏肉(むね肉)	750円/kg	850円/kg	+100円	+2円
しょうゆ(濃口)	2,200円/10ℓ	2,300円/10ℓ	+100円	+0.035円
油(菜種油)	479円/1.5kg	510円/1.5kg	+31円	+0.025円

※野菜の価格は、天候によって収穫量が変わり、価格も変動するため、比較は難しいです。

3 サンプル献立を元に試算した給食費

下表は、サンプル献立を元に試算した2026年6月現在の給食費です。小学校、中学校ともに、約23円の差額が生じています。

- 摂取基準に沿ったサンプル献立の試算

サンプル献立	ご飯、牛乳、ビビンバ(肉・卵)、ビビンバ(野菜)、韓国風豆乳鍋、ヨーグルト ※前回改定時のサンプル献立: 麦ご飯、牛乳、米粉ハヤシライス、鶏肉のハーブ焼き、豆まめサラダ		
区分	現在の給食費(A)	試算給食費(2026年6月現在)(B)	差額(C) = (B) - (A)
小学校 (3・4年生)	300円	322.82円	22.82円
中学校	350円	373.40円	23.40円

4 改定額(案)

基本物資等の値上がりや、サンプル献立を元に試算した給食費から、下表の改定額にしたいと考えています。

区分	2026年9月までの給食費	2026年10月からの給食費 案
小学校	300円	320円
中学校	350円	370円
聾学校幼稚部	270円	290円

5 知多5市5町の状況について（2026年4月現在）

（単位：円）

市町名	給食費		保護者負担額	
	小学校	中学校	小学校	中学校
半田市	330	380	0	290
常滑市	330	380	0	330
知多市	330	380	0	330
東海市	310	360	0	290
大府市	250	290	0	0
阿久比町	350	400	0	300
美浜町	350	400	0	350
南知多町	300	350	0	0
武豊町	320	370	0	290
東浦町	300	350	0	330

※大府市と南知多町は、小中学校ともに全額公費負担により保護者負担はありません。

6 スケジュール(案)

2026年7月16日	行政経営会議にて意見徴収
7月31日	第1回学校給食センター運営委員会で審議
8月17日	全員協議会で説明
8月下旬	保護者あて文書tetoru配信（千種聾学校にも周知）

※増額を見込んで当初予算を計上したため、全員協議会で説明のみします。

○今後も物価高騰が想定されるものの、2026年4月から実質値上げしたばかりであり、2027年度からの給食費については、今後の食材費（特に白飯）の上昇額が不透明な中で金額を決定するのではなく、食材費の状況を見ながら適切に対応したいと考えています。

4 その他

(1) 2学期終業式の給食提供について（2026年3月24日開催の運営委員会で承認済）

事業主体：教育委員会 教育課 ～給食を提供できる機会を増やす～

テーマ：「2学期最後の日、全員で給食を食べよう」

実施時期：2026年12月23日(水) 2学期終業式

献立：テーマに則り、極力、アレルギー食材を含まない献立を検討中。

具体的な取組：①テーマを指導主事が、直接、児童会・生徒会に伝え、各校で児童生徒が自主的な活動に取り組む。

②地域の教育力を育てる一環とする。

(2) 飲用牛乳の代替食（調整豆乳）の提供について

2024年9月（2学期）より、学校給食において食物アレルギー等により牛乳を飲むことができない児童生徒に対して、代替食として調整豆乳を提供している。

豆乳提供数	幼稚部	小学校	中学校	合計
2024. 9月～	－	2人	1人	3人
2025. 1月～	－	4人	2人	6人
2025. 4月～	－	5人	1人	6人
2026. 4月～	1人	6人	1人	8人

飲用牛乳の代替食提供



(3) 東浦町食物アレルギー対応委員会について

2024年度に、学校生活や学校給食の現場における事故防止の取組を促進することを目的として、「東浦町食物アレルギー対応委員会」を立ち上げた。

（会議：年2回、東浦町審議会等の会議の公開に関する要綱第2条第2号に該当するため非公開）

【2024年度】

- ・食物アレルギー対応の基本方針を決定
- ・対応マニュアル(手引き)を作成

【2025年度～】

- ・ヒヤリハット事例の共有
- ・食物アレルギーに関する様式の統一化
- ・エピペンの使用方法など、食物アレルギーに関する研修の実施
- ・必要に応じてマニュアルの見直し

東浦町学校給食に関する食物アレルギーの対応は、東浦町教育委員会



(4) 毎月11日のリボーンの日について

「東浦町骨折予防プロジェクト(令和2年度から実施)」に基づき、給食では、毎月11日は“ひがしうらリボーンの日”として、「おから」を使った献立の提供をしている。

2022年度 3回プレ提供

2023年度 8回提供

2024年度 8回提供

2025年度 7回提供

2026年度 3回提供予定(6月、11月、3月)

【今年度提供予定の献立】

- ・おから入りドライカレー
- ・おから入り台湾風焼きそば
- ・卵の花サラダ

